

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

公益財団法人SGH財団

本年度は、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスが、生活のあらゆる側面に影響を及ぼしたが、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、コロナ禍においても、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関するオンラインによる市民講座を実施した。

I 事業の概要

公益目的事業

1 留学生奨学事業

(1) SGH奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和2年4月17日までに80大学から92名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、奨学金の受給者を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第35期奨学生：16名（一人当たり月額12万円、給付期間2年間）
年間給付額：2,304万円（令和2年4月～令和3年3月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科 (敬称略・順不同)
チャオ マン シェン	マレーシア 秋田大学 国際資源学部
レアウ ヤウー ホング	マレーシア 東京農工大学 工学部

リュウ イー ファン	マレーシア 長崎大学 経済学部
フン グェン アイン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
ネルソン ホー イー ヘン	マレーシア 多摩美術大学 美術学部
ダニエル ハキム ビン	マレーシア 帝京大学 理工学部
ヴォ ミン ダン	ベトナム 関西学院大学 国際学部
レー グェン キュー カン	ベトナム 吉備国際大学 社会科学部
グェン タン ダット	ベトナム 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ジョセリン ラウ ミン ユエン	マレーシア 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科
クスマワルダニ マウリンダ	インドネシア 大阪大学大学院 理学研究科
ハニファ オミ ユリアニ	インドネシア 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
スー ヤダナー ライン	ミャンマー 佐賀大学大学院 理工学研究科
ヴ ティ リン チ	ベトナム 東北大学大学院 法学研究科
ラティ プラティウイ	インドネシア 静岡大学大学院 人文社会科学研究科
ファム ティ タイン タオ	ベトナム 東京外国語大学大学院 総合国際研究科

第 34 期奨学生：16 名（一人当たり月額 12 万円、給付期間 2 年間）
年間給付額：2,304 万円（令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／学部・研究科 （敬称略・順不同）
アデリン アン リー リン	シンガポール 北海道大学 現代日本学プログラム課程
グェン ティ ホア	ベトナム 下関市立大学 経済学部

グエン チェウ クエ ティエン	ベトナム 宮崎公立大学 人文学部
ミッチェル ナディア タノト	インドネシア 明治大学 国際日本学部
ソ チング マン	マレーシア 福山大学 人間文化学部
グエン アイン ガン ハ	ベトナム 環太平洋大学 経営学部
ロー ジュン セン	マレーシア 福井工業大学 環境情報学部
リチャード オンコ	インドネシア 大阪工業大学 工学部
ニコラス エコ サプトラ	インドネシア 大阪産業大学 工学部
フェリックス サリム	インドネシア 東京工業大学大学院 生命理工学院
ヌル イズヤナ ファラディラ ビンティ アズミ	マレーシア 埼玉大学大学院 理工学研究科
クレワッタナクル ナッチャノン	タイ 京都大学大学院 情報学研究科
グエン ティー トゥー フェン	ベトナム 富山大学大学院 人文科学研究科
ラーマ デウイ アマリア	インドネシア 愛知教育大学大学院 教育学研究科
レー クイン チー	ベトナム 奈良女子大学大学院 人間文化研究科
パラポン ワリサラー	タイ 拓殖大学大学院 言語教育研究科

(2) 奨学生交流活動

第 35 期 S G H 奨学生採用証書授与式

第 35 期 S G H 奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時 令和 2 年 10 月 26 日 (月) 12:15～13:00

場 所 ホテルグランヴィア京都

内 容 第 35 期 S G H 奨学生採用証書授与式

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2020年度版 アジアの和」

第35期SGH奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第34期SGH奨学生の私の夢について掲載、令和2年10月に250部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第34期 令和3年3月卒業奨学生 研究成果・感想文集

令和3年3月に卒業した第34期SGH奨学生16名の研究成果・感想文集を令和3年2月に210部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第32回SGHがん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満45歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和2年6月30日までに98機関から228件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：15件 金額：1,500万円（1件当たり100万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
遠西 大輔	岡山大学病院ゲノム医療総合推進センター准教授 腫瘍内シグナルと腫瘍外免疫環境を同時に標的とする難治性悪性リンパ腫の新規治療戦略	
越智 俊元	愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学講座特任講師 多様ながん腫とその腫瘍微小環境とを標的とする革新的キメラ抗原受容体T細胞療法の開発研究	
柴田 淳史	群馬大学未来先端研究機構内分泌代謝・シグナル学研究部門准教授 転写活性遺伝子領域におけるDNA複製に依存しないG0/G1静止期細胞の突然変異発生メカニズムの解明	
高橋 良太	東京大学保健・健康推進本部助教 膵臓癌におけるADRB2阻害による治療効果に関する検討	
高山 賢一	東京都健康長寿医療センター研究所専門副部長 RNAタンパク質相互作用を標的としたホルモン療法抵抗性前立腺がんへの新規治療法の探索	

田中 伸之	慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室助教 1 細胞レベルのがん多様性解析プラットフォームを駆使した難治性泌尿器がんの克服
田原 智満	関西医科大学医学部内科学第三講座講師 消化器炎症性発癌初期における粘膜超微形態の固定
玉内 学志	名古屋大学病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター（産婦人科）助教 オートファジー阻害による conventional chemotherapy の耐性解除に基づいた卵巣癌治療戦略の新展開
富丸 慶人	大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学助教 血清エクソソーム解析による膵癌に対する治療効果予測と治療抵抗性克服を目指した新規治療戦略
中西 祐貴	京都大学大学院医学研究科地域医療システム学特定助教 癌幹細胞をターゲットとする新規大腸癌免疫療法の開発
原谷 浩司	近畿大学医学部内科学教室腫瘍内科部門助教 固形がんにおける免疫治療の耐性因子・効果予測因子としての腫瘍免疫細胞分画の臨床的意義の検討
藤井 慎介	九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座口腔病理学研究分野講師 口腔腺扁平上皮癌におけるエピゲノム異常に関する研究：癌の悪性度に関与する扁平上皮・腺上皮分化転換機構の解明
星居 孝之	千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学講師 エピゲノム修飾因子による転写調節を介したがん代謝制御機構の解明
諸石 寿朗	熊本大学大学院生命科学研究部シグナル・代謝医学講座教授 がん細胞の免疫応答性を標的としたがん治療薬の開発
山本 雄介	国立がん研究センター研究所主任研究員 空間的シングルセル解析による非浸潤性乳管がんの腫瘍内不均一性の解明

(2) 第2回SGHがん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和2年6月30日までに23機関から28件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12件 金額：600万円（1件当たり50万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
伊藤 紗弥香	信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和ケアセンター副看護師長 「ACP (Advance Care Planning) の手引き書」実用化への取り組み	
上村 浩太	北海道立子ども総合医療・療育センター看護部 A 病棟 (内科系) 指導主任看護師 看護師向け自己学習動画教材「小児がん患児とその家族へのトータルケア」の開発過程への小児がん患児の親の参画と評価～Patient and Family Centered Care の理念に基づいて～	
境 美穂子	弘前大学医学部附属病院脳神経外科・形成外科病棟看護部長 交流電場腫瘍治療を受けている患者の在宅療養生活としたい	
高西 裕子	徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻ストレス緩和ケア看護学分野博士前期課程 ICC 蛍光リンパ管造影検査によるリンパ浮腫状態の可視化がもたらす心理および QOL、セルフケアへの効果検証	
田中 結花子	修文大学看護学部看護学科准教授／国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻看護学分野成人看護学領域研究生 がんを併発する難病患者の在宅療養支援とソーシャルキャピタル活用に関する研究	
田村 利枝	岡山大学病院周術期管理センター副看護師長 大腸がん手術患者における高齢者機能評価スクリーニングツールの有用性の検証	
日浅 友裕	中京学院大学看護学部看護学科成人看護学准教授 外来で放射線療法を受けるがん患者の気がかりスケールの開発	
前田 紗江	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野博士後期課程 婦人科がん治療後女性の性生活に関する情報の必要性和情報探索行動についての検討：情報提供ツール開発に向けて	
海内 千春	岡山大学病院入院棟西3階 Bio Clean Room 看護師長 新規血液がん治療である CAR-T 細胞療法患者の包括的看護システムの構築	
毛利 貴子	京都府立医科大学大学院保健看護学研究科准教授 進行期高齢非小細胞肺癌／膵がん患者における悪液質予防介入プログラムの実践と評価	
山本 瀬奈	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻講師 分子標的治療を受けるがん患者の Financial Toxicity (経済毒性) の様相	

吉村 舞

北海道大学大学院保健科学院保健科学専攻博士後期課程看護学
コース看護科学科目群鷺見研究室

急性期病院から自宅退院するがん患者と家族の退院経験に基づいた
当事者によるアウトカム指標の検討

(3) 第 18 回 S G H 特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者
及び医療従事者の推薦を、医学部を有する大学、学会、がん診療連携拠
点病院等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した
結果、推薦締切の令和 2 年 6 月 30 日までに 13 件の推薦があり、選考委
員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次の
とおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2 件 総額：1,000 万円（1 件当たり 500 万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏 名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
津金 昌一郎 氏	国立研究開発法人国立がん研究センター社会と健康研究センター長 科学的根拠に基づいた日本人のためのがん予防法の開発と普及	
松岡 雅雄 氏	熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科教授 ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型による発がん分子機構に関する研究	

(4) 第 18 回 S G H 看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活
動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を、CNS
コースを有する大学、学会、看護協会等の団体、学識経験者、当財団理
事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和 2 年 6 月 30 日ま
でに 11 件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をも
とに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テー
マの研究報告書を入手する。

贈呈数：2 件 総額：200 万円（1 件当たり 100 万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏 名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
神田 清子 氏	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科学科長・教授 抗がん薬治療に関連する難治性障害を抱えるサバイバーの症状 マネジメント支援	
佐藤 富美子 氏	東北大学大学院医学系研究科保健学専攻がん看護学分野教授 乳がん体験者の生活の再構築を促進する包括的な長期リハビリ ケアプログラムの効果に関する介入研究	

(5) 授与式・授賞式の開催

第 32 回 S G H がん研究助成金受領者、第 2 回 S G H がん看護研究助成金受領者を対象とした授与式、第 18 回 S G H 特別賞授賞式、第 18 回 S G H 看護特別賞授賞式を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 3 年 3 月 17 日）に掲載した。

日 時	令和 2 年 12 月 5 日（土）11:00～12:30
場 所	ホテルグランヴィア京都
内 容	第 32 回 S G H がん研究助成金授与式 第 2 回 S G H がん看護研究助成金授与式 第 18 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

(6) 研究成果報告集の刊行

第 31 回 S G H がん研究助成金受領者、第 1 回 S G H がん看護研究助成金受領者及び第 17 回 S G H 特別賞受賞者、第 17 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和 2 年度のがん研究振興事業報告を掲載し、「2020 S G H がん研究報告 Vol.31」を令和 3 年 3 月に 1300 部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

3 がんに関する市民講座の開催

第 19 回市民公開講座をオンライン配信により次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 3 年 3 月 22 日）に掲載した。

第 19 回市民公開講座

「ウィズコロナ時代の新たながん医療とは」

日 時 令和3年2月23日（火・祝）13:00～16:00

講演（各30分）

「新型コロナウイルスの疫学動向を評価・デザインする」

西浦 博 氏

（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻教授）

「がんサバイバーからみた新型コロナウイルス」

山内 英子 氏

（聖路加国際病院副院長 乳腺外科部長）

「新型ウイルスとがん放射線治療について」

宇野 隆 氏

（千葉大学大学院医学研究院画像診断・放射線腫瘍学教授）

パネルディスカッション（80分）

モデレーター：平岡 眞寛 氏、小西 郁生 氏

パネリスト：西浦 博 氏、山内 英子 氏、宇野 隆 氏

コーディネーター 平岡 眞寛 氏（日本赤十字社和歌山医療センター院長）

小西 郁生 氏（国立病院機構京都医療センター名誉院長）

司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）

参加者数 1876名

後 援 公益財団法人日本対がん協会・読売新聞大阪本社

協 力 SGホールディングスグループ

その他事業

1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

2 人材育成支援事業

(1) 日中友好物流人材育成支援研修

本事業については、本年度は休止した。

(2) ラオス物流人材育成支援

本事業については、本年度は休止した。

(3) ベトナム物流人材育成支援

本事業については、本年度は休止した。

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社社長
理事	大久保 潔	SGホールディングス株式会社総務部秘書ユニット 担当部長
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター名誉院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター院長
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	北村善和税理士事務所所長

(2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授 名古屋市立大学名誉教授
評議員	佐野 友紀	佐川グローバルロジスティクス株式会社社外監査役
評議員	武藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・ 医学研究所長 京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	松本 秀一	SGホールディングス株式会社取締役

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：10名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社取締役副社長
顧問	河野 伊一郎	倉敷芸術科学大学学長 独立行政法人国立高等専門学校機構顧問 岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	慶應義塾大学病院副院長 臨床研究推進センター長
顧問	高月 清	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院評議員 熊本大学名誉教授
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長
顧問	畠 清彦	国際医療福祉大学医学部教授 国際医療福祉大学三田病院副院長・悪性リンパ腫血液腫瘍センター長
顧問	三嶋 理晃	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院院長
顧問	山岸 久一	京都府立医科大学名誉教授（元学長）

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年5月18日 (みなし決議)	第35期SGH奨学生採用の件	承認
令和2年6月5日 (みなし決議)	令和元年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	SGH奨学生選考委員5名選任の件	承認
	SGHがん研究助成選考委員9名選任の件	承認

	S G Hがん看護研究助成選考委員 6 名選任の件	承認
	S G H特別賞選考委員 5 名選任の件	承認
	S G H看護特別賞選考委員 6 名選任の件	承認
	S G ホールディングス株式会社第 14 回定時株主総会における議決権行使の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
令和 2 年 9 月 14 日 (みなし決議)	第 18 回 S G H特別賞受賞者決定の件	承認
	第 18 回 S G H看護特別賞受賞者決定の件	承認
	第 32 回 S G Hがん研究助成採択決定の件	承認
	第 2 回 S G Hがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和 3 年 3 月 29 日 (みなし決議)	S G H特定奨学生積立基金積立の件	承認
	S G Hがん研究助成選考委員 3 名選任の件	承認
	選考委員の報酬等並びに費用に関する規程改定の件	承認
	留学生奨学金給付規程改定の件	承認
	特定留学生奨学金給付規程制定の件	承認
	令和 3 年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 2 年 6 月 23 日	令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	令和元年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① 第 35 期 S G H奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年5月10日	第35期SGH奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② 第32回SGHがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年9月3日	第32回SGHがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ 第2回SGHがん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年9月7日	第2回SGHがん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ 第18回SGH特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年8月6日	第18回SGH特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ 第18回SGH看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年8月17日	第18回SGH看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
令和2年6月25日	事業報告等の提出
令和3年3月31日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年6月

公益財団法人SGH財団